

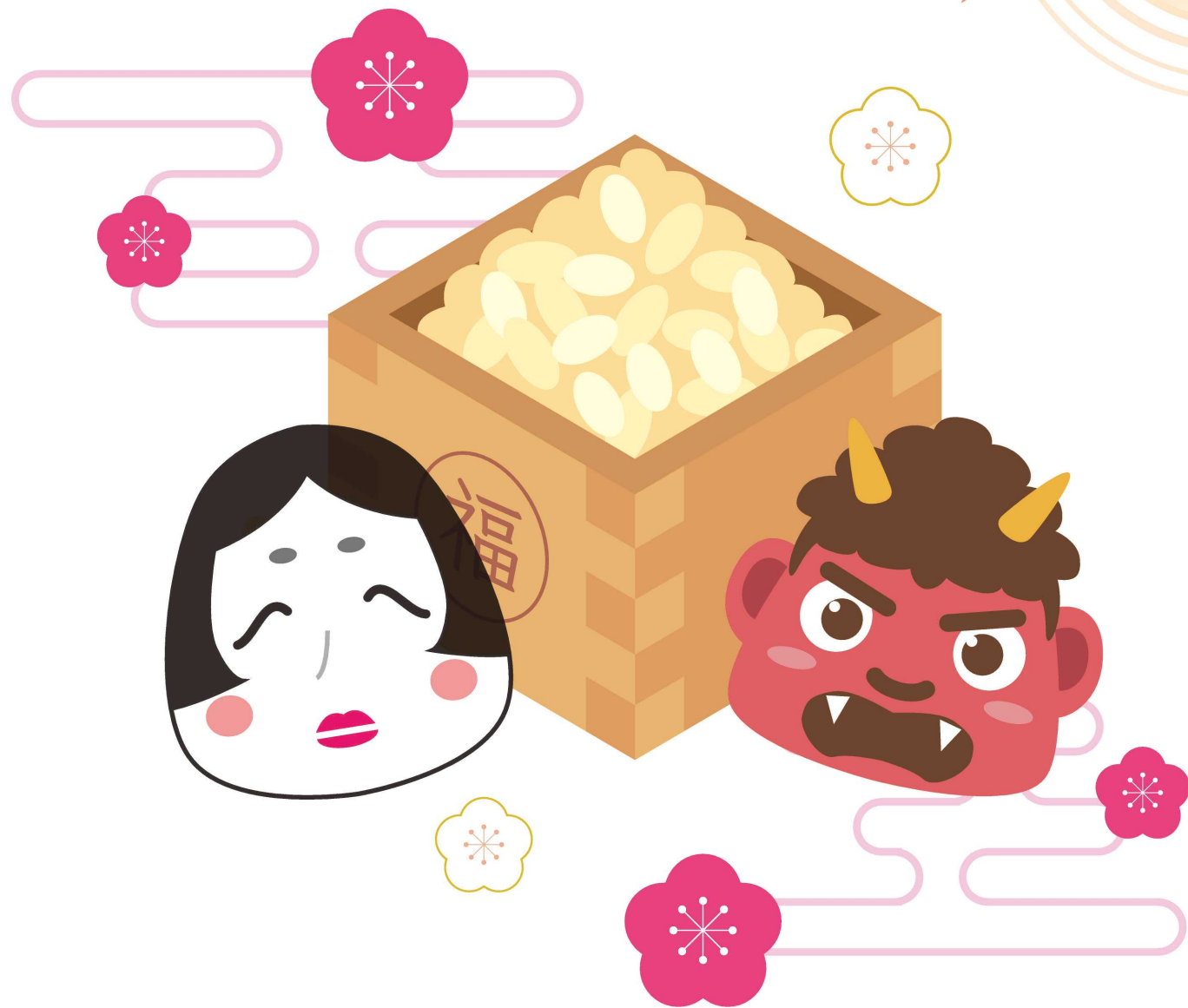
三郷議会だより

Sango

第255号

令和6年2月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会 / 広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101 (内線 293) 直通 (0745) 43-7371



主な内容

- ◆ 主な議会の内容 2
- ◆ 一般質問 3~7
- ◆ 常任委員会の主な報告 8
- ◆ 可決された意見書 8・9
- ◆ 審議結果 10

毎月11日は『人権を確かめあう日』です。

補正予算・条例改正・契約締結などの議案19件が提出され、全て可決しました。

主な議会の内容

議案第41号

令和5年度三郷町一般会計補正予算(第6号)

○三郷北小学校・三郷中学校 屋内運動場等空調設備整備事業

児童、生徒の学習・生活の場であり、災害時には避難所として活用することから、**体育館に空調設備を整備します**。また三郷中学校武道場についても、空調設備の整備をすすめます。

※8ページの関連記事もご覧ください。

議案第55号

三郷町勢野東地区惣持寺第二樋門設置工事受託変更契約の締結について

浸水被害をなくすため、調整池工事と並行して施工している、新しい樋門の設置工事について、追加工事などが発生したため、変更契約を締結します。

なお、内容は地元の要望をうけて、堤防上を安全に通行できるように、**仮堤防の形状を変更し迂回路をつくる**ものです。



▲令和5年11月末日時点



現場
視察

12月11日、惣持寺地区調整池整備工事の様子を視察しました。

本会議の様子は インターネットでも視聴可能です



時間や場所を問わず、自宅などのパソコンやスマホでご覧いただくことができます（生配信・録画配信）



★高田 好子

- コミュニケーション支援について
- 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

★澤 美穂

- 日本遺産事業の現況と「三郷町かわまちづくり」について
- e-スポーツによる多世代交流で自治会加入促進を!
- チャイルドシート、ジュニアシートの購入費助成について

★吉村 今日子

（本会議を欠席したため、通告された一般質問は行いませんでした。）

- リユースボックスの運用状況について
- 町施設のWi-Fi環境の充実を

★神崎 静代

- 第9期の介護保険料は値上げしないように
- 大阪地検特捜部の捜査について説明を

★南田 善紀

- 日本語学校について地域住民に丁寧な説明と、学生と地域を繋ぐ役割を担っていただきたい

★木谷 慎一郎

- 保育園から病児保育施設への送迎支援事業について

★辰己 圭一

- 行政サービス向上のため、役場庁舎における自動通話録音装置の導入について
- 災害時に備えて、防災備蓄ゼリーの導入について

★南 真紀

- 龍田大社のトイレを新しく

★奥山 一臣

- ライドシェア導入による交通手段拡充について

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたってその方針や考えを聞き、疑問点をただしたり、町民の要望に応え新たな政策を提案したりするものです。

なお掲載された質問は、各議員が執筆し概要をまとめたものです。詳細は会議録に記録されており、ご覧になりたい方は、発行時期などを議会事務局までお問い合わせください。

コミュニケーション支援について



高田 好子



支援が必要な方と支援する方を結ぶ媒体として、ヘルプマーク・ヘルプカードが普及したが、新たなツールの「ヘルプシール」を導入しては。耳の不自由な町民の方との対話が円滑にできるよう、窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入しては。

A

内部障がいや難病の方、外見からわからなくても援助

や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを促すことで、援助を得やすくするためのヘルプマーク・ヘルプカードを平成28年10月より配布しております。「ヘルプシール」については、障がいのある方が日頃から感じている「理解してほしいこと」や「配慮してほしいこと」を言葉にしたコミュニケーションツールとして、意思疎通を円滑に行えるよう新たに導入し、令和6年度には配布できるように調整してまいります。

軟骨の振動で音を伝える「軟骨伝導イヤホン」の導入については、対話支援システム機器「コミュニケーション」を15台購入し、役場窓口と出先機関に設置しており、引き続き「コミュニケーション」を活用し、住民の皆様が安心して来庁していただくことができるよう、寄り添いながら窓口対応を行ってまいります。

日本遺産事業の現況と「三郷町かわまちづくり」について



澤 美穂



「龍田古道・亀の瀬」推進協議会のガイド運営の委託をせずに町民の雇用に繋げては。またJR三郷駅付近の親水公園、日本遺産の観光拠点となる「川の駅」が計画されている令和8年完成予定の「三郷町かわまちづくり」の進捗状況は。

A

日本遺産の関連事業は、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推

進協議会が運営しており、令和6年度から2年間は、本町が事務局を担当します。令和6年度は、「龍田古道・亀の瀬ガイドの会」を協議会の組織として正式に運営して行けるよう、ガイドの会の希望に沿った体制や環境を整えてまいります。

次に、「三郷町かわまちづくり」は、令和8年度での完成を目指すもので、事業主体は国（大和川河川事務所）になります。令和5年度は、大正橋の下流側から、護岸工事に着手する計画で、現在は整備内容や工事実施時期など、最終調整を行っているとの報告を受けています。また、「川の駅・亀の瀬東口」の事業主体は町で、令和7年4月のオープンを目指して進めておりましたが、建築資材や物価高騰などの影響を受け、若干の遅れが生じる可能性があります。

亀の瀬をはじめとし、このエリアへの来訪客が増えていることから、可能な限り早期に完成できるよう、国（大和川河川事務所）と連携を密にし、賑わいのある河川空間の整備に努めてまいります。

第9期の介護保険料は値上げしないように



神崎 静代



第8期の介護保険料は第1期の1.96倍にもなった。1億5千万円ある基金や一般会計からの繰り入れで第9期の保険料は値上げしないように。また、所得段階の細分化で低所得者の負担の軽減を。



年々、要介護認定者数やその方々の介護保険サービス

の利用頻度、保険給付費は増加傾向にあります。現在実施している「すっきり教室」「運動器の機能向上事業」「100歳いきいき体操」「口腔機能向上事業」などの介護予防や認知症予防を継続することで、給付費の抑制につながると考えているため、引き続き予防施策に重点を置いた取り組みを実施していきます。

一般会計からの法定外繰り入れは常態化すると財政を圧迫することになり、他の施策にも支障をきたすことから、ルール分の繰り入れを行い、第9期の介護保険料算定にあたっては、基金の活用を考慮しつつ、適正な介護保険料を決定していきたいと考えています。

また、所得段階については現在の11段階から13段階に細分化し、できる限り低所得者の負担にならないように検討しています。

日本語学校について地域住民に丁寧な説明と、学生と地域を繋ぐ役割を担っていただきたい



南田 善紀



令和5年10月に開校された日本語学校について地域への説明が不足しており、突然増えた外国人学生に戸惑いがあり、不安を感じている。丁寧な説明と共に、地域と学生たちを繋ぐ架け橋の役割を担ってほしい。



日本語学校開校にあたり、事前に学校は地域自治会

などに説明を行い、町としても9月号広報にて記事を掲載しましたが、広く町全体に浸透し、理解されたとは言えない現状です。急に外国人が増えることについて、小中学生の保護者や地域の皆さまが不安に思う気持ちは当然あると思われまます。

現在、地域に少しでも早く溶け込めるよう、小中学校や幼稚園にチラシを配布しており、今後は町で行われる地域のさまざまな活動やイベントに参加することにより、地域との交流を深めていきたいと考えております。また、教育委員会や学校とも連携し、小中学校の児童生徒と触れ合える機会を模索してまいります。

町が地域と留学生たちを繋ぐ架け橋として、さまざまな場面で積極的に交流の機会を設け、共生社会の実現に向け、努めてまいりますと考えております。

保育園から病児保育施設への送迎支援事業について



木谷 慎一郎



病児保育施設が稼働している現在でも、子どもが保育園登園後に発熱すると、常に仕事を早退するなどしてお迎えに行く必要がある。就労と育児の両立を支援するため「病児保育における送迎サービス」が必要と考えるがどうか。

A

病児保育における送迎サービスとは、在籍している保育園で子どもが体調不良となり、保護者が仕事などを理由にお迎えに行くことが困難な場合、病児保育室の看護師などがお迎えに行き医師の診察を受けた後、病児保育室で保育を行うものです。

この送迎サービスは、就労と育児の両立を支援することが可能となり、保護者にとっては大きなメリットとなります。

一方、子どもにとっては、体調が悪い中、面識のない大人に、知らない場所に連れて行かれるといった不安や心身への負担が大きいかも懸念されます。

そのため、まずは病児保育室を運営する5町で協議を行い、送迎支援事業について実施したいという総意があれば、委託先である西和医療センターと、職員の配置や保育スペース、安全面や費用面などについて、協議を進めてまいります。

災害時に備えて、防災備蓄ゼリーの導入について



辰己 圭一



町では、万が一の災害に備え、長期間保存ができる水・アルファ化米・パン・ビスケットなど備蓄しているが、栄養価が高く、子どもや高齢者、アレルギーがある人でも安心して食べられる防災ゼリーを導入してはどうか。

A

本町では、甲殻類や卵・牛乳・そばなど、食物アレルギー特定原材料を使用していないものを毎年計画的に購入し、備蓄していますが、ビスケットやクッキーについては小麦粉が原材料であるため、小麦アレルギーの方に対応するため米粉パンも購入する計画をしています。

防災用ゼリーは、エネルギー補給や水分補給も同時にでき、固いものが食べにくい高齢の方や、幼児にとっても安心して摂取することができ、アレルギーの問題もなく災害時には非常に有用なものとなります。

これらのことから、すでに令和5年度において、防災用ゼリーを備蓄できるように準備を進めており、継続して計画的に購入していきたいと考えています。



▲防災ゼリー(イメージ)



南 真紀



龍田大社のトイレを新しく



令和5年10月、龍田大社の渡御祭が行われ、トイレの改修を求める住民の声がたくさんあった。日本遺産に登録されているので国からの補助金などを使い、できれば誰もが使えるインクルーシブも案に入れて改修を。



龍田大社は日本遺産の構成文化財に位置づけられており、トイレ改修には文化庁の補助金を活用できると聞いています。

しかし、事業主体は龍田大社で事業の実施は補助金以外の資金の調達、改修工事の発注など龍田大社が主体で進めていただかなければなりません。近年、文化庁の補助金を活用され大鳥居の修復工事、本殿の屋根の葺き替え工事など順次行われ、今後、トイレの改修実施の意向はあると聞いています。ただ国からの補助金があるとはいえ龍田大社の負担も発生することから龍田大社の意向に寄るところが大きいと考えています。

町としては、文化庁の補助金に関する情報提供やその他活用できる補助金がないかなど、できる限りの協力とともに整備の際には誰もが安心して利用できるインクルーシブなトイレを整備していただくよう、要望していきたいと考えています。

ライドシェア導入による交通手段拡充について



奥山 一臣



町では予約制乗合タクシーを運行しており、多くの住民の方が満足しておられる。しかし、深夜やペットを連れての移動などできない。今後、全住民が活躍可能なライドシェアを併用した交通手段拡充の考えは。



予約制乗合タクシーについては、平成25年の運行から7,400人余りの登録者があり、直近では月2,124人が利用され、住民にとってなくてはならない公共交通として定着しています。そして町も運行事業者やシテム事業者に運行費用を支出し効率的な運行となるように努めています。

ライドシェアについては過疎化が進み交通事業者がいない地域で住民互助の形で導入されています。国においてもインバウンド需要やドライバー不足、高齢化対応に向け検討が進められているところです。

町でのライドシェア導入については、事故発生時の責任範囲や全運行の担保、また運転者や利用者の個人情報取り扱いなど問題は山積みです。また、地域公共交通を安定的に維持するためには費用対効果も重要な要素となるため、現在のところライドシェアを併用する予定はありません。

常任委員会の 主な報告

総務建設常任委員会

▶ 開会日 令和5年12月8日(金)
午前9時30分～

文教厚生常任委員会

▶ 開会日 令和5年12月12日(火)
午前9時30分～

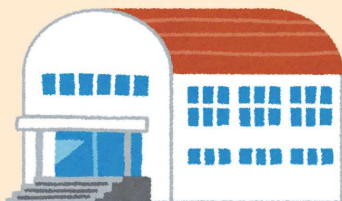
議案第41号

令和5年度三郷町一般会計補正予算(第6号)

(全会一致原案可決)

Q 小中学校の屋内運動場等空調設備整備事業について、三郷小学校はなぜ含まれないのか。

A 三郷小学校は、今後建て替えを検討しており、空調設備についてもその機会に併せて設置したいと考えています。



その他の質問

Q 役場窓口での申請書類などデジタル化について

A いわゆる「書かない窓口」として手続きの簡便化をはかることで、住民の皆さまが利便性を実感し、かつ業務上使用しているシステムとの親和性が高いものについて現在情報収集中です。

令和7年度末までに住民情報システムの標準化、共通化を控えていることから、最も効果的で効率的なタイミングを見極め、今後導入していきたいと考えています。

【お詫びと訂正】

「三郷議会だより第254号 令和5年11月1日発行号」に誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びします。

○11ページ

【常任委員会の主な報告】

ファミリーサポートセンターのサポート会員数について

6名(誤) → 29名(正)

可決された意見書

発議第4号

保育士の配置基準と処遇の改善を求める意見書

保育施設において、子どもたちの命を守り安全を確保しながら発達を保障するためには、現行の保育士配置基準では不十分です。保育園などにおける児童虐待や通園バスに置き去りにされた子どもたちが命を落とす事故まで、発生しています。

その背景として慢性的な保育士不足による苛酷な労働環境で現場は疲弊しており、その打開を求める声が保育現場や関係者から相次いでいます。

保育士の配置基準は74年間一度も改善されておらず、日本は主要国の中でも極めて低い基準のままとなっています。

職員の数を増やすことは、子どもの命と育ちを守ることに直結します。質を確保した保育の受け皿を整備するためには、保育士の配置基準の改善や賃金水準の引き上げによる処遇改善が

急務です。

よって国におかれましては、以下の項目について速やかに実施するよう強く要望します。

記

- 1 保育士の配置基準の見直しを行うこと。
 - 2 賃金水準の引き上げなど処遇改善を図ること。
 - 3 上記1、2を実施する際には、保育士不足により現場が混乱しないよう当分の間は必要な対策を講ずること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

2023年12月14日
奈良県三郷町議会

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)

発議第5号

物価高騰から国民生活と産業を守ることを求める意見書

国際情勢の急激な変化や急速な円安の進行によるエネルギー価格の高騰が長期化していることに加え、原材料費や物流費の高騰に伴い食料品等を始めとする物価高騰も継続しており、奈良県民の生活、企業等の産業活動はもとより、価格転嫁による対応が困難な教育や医療・介護・保育等のサービスにも重大な影響を及ぼしている。

国においては、令和4年度、低所得者に対する給付金、電気・ガス料金の激変緩和対策のほか、地方公共団体に対し地方創生臨時交付金を措置するなど物価高騰対策を講じており、奈良県においても、当該交付金を活用し幅広く生活者や事業者の支援に取り組み、それぞれの負担軽減に確実な成果を上げている。

しかしながら、夏以降も燃料や食料品等の値上げが相次ぎ、実質賃金が前年度を下回る状況が続いており、今後も国民生活は厳しい状況が続くことが推測される。

そのような中、この度、政府において『デフレ完全脱却のための総合経済対策』を取りまとめられたが、中小企業の成長や生産性向上を促していくとともに、個人に対しては、中小企業・小規模事業者に十分配慮しながら、物価高に負けない賃上げを実現することで、社会経済活動の再生につなげていくことが重要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

- 1 電気・ガス価格激変緩和対策について、来年4月使用分まで延長するとされている措置を、物価高騰が改善されるまで、継続して実施すること。
- 2 賃上げに伴い、所得税・住民税の減税だけではなく社会保険料の負担を軽減し、可処分所得が増える対策を講じること。
- 3 国際情勢に起因する急激な原油価格の高騰や円安の影響などによる物価高騰に見合った最低賃金の引き上げを行うこと。あわせて、最低賃金の引き上げは、中小企業・小規模事業者にとって極めて大きな負担となることから、事業主社会保障費負担の軽減措置の創設などをはじめ、経営安定のための施策を行うこと。
- 4 大幅に拡充した賃上げ促進税制の活用促進や、赤字でも賃上げする企業に対する補助金の補助率引き上げを行うなど、中小企業の賃上げを後押しすること。
- 5 原油価格・物価高騰などで苦しむ中小企業の資金繰りを支え過剰債務の軽減を含めた事業再生・再チャレンジを支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月14日
奈良県三郷町議会

発議第6号

「新西和医療センター」の機能充実等に関する意見書

令和5年12月1日、西和医療センターの移転・再整備に関する西和7町の説明会が開かれ、その候補地としてJR法隆寺駅南側地区(斑鳩町)が示されました。

西和医療センターは昭和54年4月の開院以来、40年以上の長きにわたり西和地域の中核病院として、地域住民が最も頼りとする身近な総合病院として、救急医療を含めた地域医療を担い、安心できる医療体制を提供してまいりました。

さて、国では「こども家庭庁」が令和5年4月に発足し、次元の異なる少子化対策の実現に向けて、こども施策の基本的な方針や重要事項等を定める「こども大綱」が示される予定です。

国の施策の充実等により子育て世帯の増加が期待されますが、この西和地域には、分娩が可能な施設は1診療所と1助産院のみであり、慣れ親しんだ場所や住まいの近くで子どもを産むことができない状況であることから、安全に安心して妊娠・出産と子育てができる医療体制が望まれます。

また、医療DX推進にあたりオンライン資格確認システムの

提出先 奈良県知事

ネットワークを拡充することで、医療機関や薬局、介護事業所、自治体、保険者等の間で保健、医療、介護の情報を共有する「全国医療情報プラットフォーム」を国において構築中であり、令和8年度から全国的に運用開始を予定されています。

そこで、地域医療を担う新病院の設置にあたり、広く快適な環境のもと治療を受けることができる環境整備を図ることは勿論のこと、特に下記の機能充実等を図るべく、「新西和医療センター整備基本計画」へ反映されることを強く要望します。

記

- 1 分娩を含む周産期医療体制の一体的整備
- 2 小児二次救急体制の充実
- 3 医療・介護のオンラインによる情報連携をはじめとした地域包括ケアシステムの整備

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和5年12月14日
奈良県三郷町議会

令和5年第4回(12月)三郷町議会定例会 12月7日(木)～12月14日(木)

議案	審議結果
議案第41号 令和5年度三郷町一般会計補正予算(第6号)	全会一致原案可決
議案第42号 令和5年度三郷町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第43号 令和5年度三郷町介護保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第44号 令和5年度三郷町下水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致原案可決
議案第45号 令和5年度三郷町水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致原案可決
議案第46号 三郷町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第47号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第48号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第49号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第50号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第51号 三郷町手数料条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第52号 三郷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第53号 令和5年度木育推進型インクルーシブ拠点施設整備工事請負契約の締結について	全会一致原案可決
議案第54号 令和5年度近鉄跨線橋(勢野東)補修工事施行委託協定の締結について	全会一致原案可決
議案第55号 三郷町勢野東地区惣持寺第二樋門設置工事受託変更契約の締結について	全会一致原案可決
議案第56号 三郷町文化センターの指定管理者の指定について	全会一致原案可決
発議第4号 保育士の配置基準と処遇の改善を求める意見書	全会一致修正可決
発議第5号 物価高騰から国民生活と産業を守ることを求める意見書	全会一致原案可決
発議第6号 「新西和医療センター」の機能充実等に関する意見書	全会一致原案可決

議会のういき

12月

- 7日 第4回定例会本会議
 - 8日 総務建設常任委員会
 - 11日 下水道特別委員会
 - 12日 文教厚生常任委員会
 - 14日 全員協議会・本会議
 - 19日 老人福祉施設三室園組合議会
王寺周辺広域休日心急診療施設組合議会
 - 21日 例月現金出納検査
生駒郡町村議会議長会
- ### 1月
- 6日 三郷町消防団出初式
 - 7日 はたちのこころ
 - 11日～12日 定期監査
 - 16日 全員協議会
 - 19日 例月現金出納検査

